



“驚いたし、面白かったし、感動した。素晴らしい！
なるほどこれこそ教育だ。” 映画評論家 佐藤忠男

子どもたちの園での日常を追って、新しい保育のかたちを問う、感動の子どもドキュメンタリーの誕生です。本作に登場する3つの園は、子どもを主役とした、子どもに寄り添う独自の幼児教育を実践しています。それは「人を育てる」というテーマに真摯に向き合った情熱と自信にあふれた保育です。そのユニークで個性的な3つの園のありのままの日常を通して「子どもは本当は何を望んでいるのか、おとなたちはいま子どもに何をすべきなのか」を感じとって下さい。

【解説】都心の一角にある幼稚園の子どもたちを映画にした「風のなかで むしのいのち くさのいのち」のいのちのちのスタッフが再び子どもと保育をテーマに映画をつくりました。今すべてのおとなに贈る、泣いて笑ってちょっぴり切ない。

保育に関わる人々はもちろん、一般家庭のおとうさんおかあさんなど、こどもと未来に関わる多くの人々に見てほしい映画だ。

—— 絵本作家 いわむらかずお

子どもとは何か、幼児時代は、長い一生の中で、どういう意味があるのか、そこにもっと目が向けられれば、子どもの未来は今より少しはよくなるように思う。

—— 中瀬幼稚園 園長 井口佳子

自分の頭で考え、行動する子どもを育てる保育に拍手を送ろう。「子どもが原点」という保育姿勢に！

—— 聖心女子大学 教授 河邊貴子

いま、さまざまな保育施設で、こんなに先進的な児童教育が行われていると知って、驚いたし、面白かったし、感動した。素晴らしい！なるほどこれこそ教育だ。

—— 映画評論家 佐藤忠男

「きみたちこそ未来、みんなで手をつなぐと もっと大きくなるよ！」



【内 容】

横浜にある「りんごの木」では、その日に園でおこったさまざまな出来事をテーマに子どもたちが自分の言葉で話し合います。一生懸命話し合っ、心のモヤモヤを出し合っ、結論はすぐにはでないけど、子どもたちは考えます。ここにはまったく新しい保育のかたちがあります。

「森のようちえんピッコロ」は、山梨の森の中にあります。この園の子どもたちは一日中、自然のふとこころに抱かれて全力を出しきって遊んでいます。それは子ども本来の姿であり、まさに人間の原点をみるようでわたしたちに自然と人間のつながりの大切さをもう一度気づかせてくれます。

大阪の「保育所 聖愛園」はインクルーシブ保育を実践している園です。インクルーシブ保育とは、ハンディのある子どもない子どもみんな一緒に育ち合う保育のことです。この園の子ども同士の助け合いの姿をぜひご覧ください。そしてその保育の現場に存在する、一片の詩情に胸をふるわせてください。



【出演】りんごの木の子どもたち 柴田愛子・青山 誠 / 森のようちえんピッコロの子どもたち 中島久美子
聖愛園の子どもたち 野島千恵子 / 常盤会学園大学 国際こども教育学部 堀 智晴 / 各園の保育士、保護者のみなさん
【撮影協力】りんごの木 / 森のようちえんピッコロ / 社会福祉法人 路交館 保育所 聖愛園
【スタッフ】プロデューサー：筒井勝彦・秋葉清功・佐藤和生 / 撮影：秋葉清功・山口正芳・石崎俊一
音楽：近藤久美子・稲葉 光・阿部浩二（トリンダージ）・近藤裕圭子・熊田 洋・唄：塩澤直美 / 編集：筒井勝彦
（オフィスハル編集・ミキシングルーム） / イラストデザイン：ソ・ミジ / スチール：砺波周平 / ホームページ：島 親夫
CG：岡村武男 / 題字デザイン：弘光健二 / 制作：筒井 厚 / 企画：小学館『新 幼児と保育』編集部 宮川 勉・オフィスハル 筒井勝彦
【協力】グループ現代 川井田博幸 / スタジオドンファン 山田 陽 / 中瀬幼稚園 井口佳子 / 劇団 中田浩二
宣伝協力：尾形充流 / 秋葉撮影考房 / 配給：「こどもこそミライ」上映委員会 / 製作プロダクション：オフィスハル / 監督：筒井勝彦



上映時間：84分 / HDV / カラー / 2013年 / JAPAN

★最新情報・自主上映のお申込みは『こどもこそミライ』
公式サイト <http://kodomokosomirai.com> へ！



こどもこそミライ